

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	ドライブや外出先は、ほとんど職員が決めてしまう事が多い。利用者のADL低下により全員での外出が難しくなっており、特定の利用者のみでの外出が多くなっている。	特定の利用者の方の外出にならないよう配慮しながら希望に応じて外出や散歩等が出来る様に努める。	利用者の方の状態に合わせて、本人の希望を聞きながら外出先を決めるようにし、職員主導の外出にならないようにする。	12ヶ月
2	33	重度化、終末期に向けた職員への十分な心構えや知識についての研修が行われていない。	職員が重度化、終末期に向けた心構えや知識を研修等を通して準備する事ができる。	事業所内部での研修を予定すると共に外部の研修への積極的な参加を行い職員が重度化、終末期に向けた心構えや知識の準備を出来る様にする。	12ヶ月
3	19	面会に来て下さるご家族との関係は、深められている。行事にも参加して下さっているがご家族によっては、仕事や家庭の都合で行事への参加が難しい場合がある。	なるべく多くのご家族から行事に参加して頂くことで利用者がより楽しむことが出来るようにする。又、利用者の暮らしの様子をご家族から知って頂く機会とする。	ご家族が行事参加の予定を立てやすくする為、早めにお知らせする。案内状の作成も参加したくなるように工夫して作成する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。